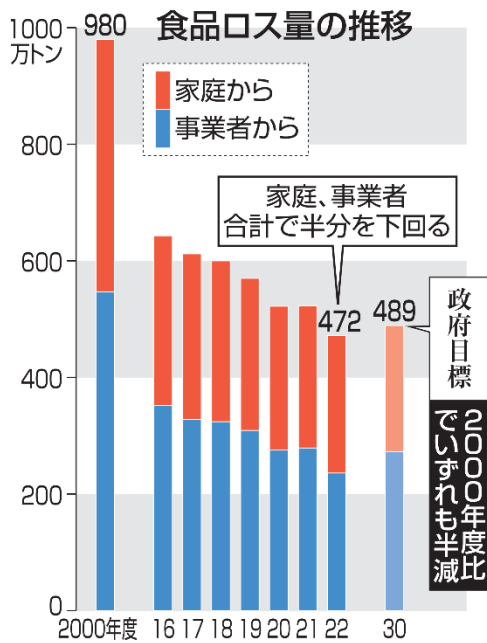


年 月 日 /

学校 年 組 番 なまえ

2024年6月22日付



22年度の発生量は事業者、家庭とも236万ト。前年度と比べ事業者は15・4%減で、初めて半減目標を下回った。

22年度の発生量は事業者、家庭とも236万ト。前年度と比べ事業者は15・4%減で、初めて半減目標を下回った。

22年度政府推計

政府は21日、店舗や家庭などで本来食べられるのに捨てられた「食品ロス」が2022年度は472万トだったとの推計を発表した。推計を始めた12年度以降で最少。30年度までに00年度比で半減させる政府目標を8年早く達成した。ただ経済損失は4兆円に上るとの試算も公表。22年度は飲食店の営業自粛などコロナ禍の事情があり、伊藤信太郎環境相は記者会見で「楽観視はできない」として、削減への協力を求めた。

472万ト、半減目標は達成

食品ロス 経済損失4兆円

政府は事業者分について、賞味期限の延長や、メーカーから小売事業者への納品期限の緩和などが進んだと分析。コンビニなどで商品棚の手前から期限が迫った商品の購入を促す「てまえどり」も消費者に浸透したとみている。

自見英子消費者担当相は記者会見で、事業者分の新たな削減目標を検討する考えを示した。

家庭からの排出は食べ残し、未開封の食品を食べずに捨てるケースが大半。環境省は、食品ロスへの関

【問1】 食品ロスの半減目標 (2000年度比)の達成にかかった年数は？

22年

食品ロスによる経済損失は国の委託を受けた企業が21年度分を試算しているが、政府として公式に示すのは今回が初めて。食品の価値や輸送運賃などから計算した。国民1人当たりでは年3万2125円に相当する。

食品の製造過程などでは二酸化炭素(CO₂)が発生し、ロス分を製造、輸送するために年間1046万トのCO₂を排出したとの試算も示した。

心は高まりつつあり、コロナ禍では家庭で食べる機会が多く、食材を使い切りやすかったと分析している。

【問2】 食品ロスによる経済損失は、国民一人当たり年間どれくらいの金額に？

3万2125円相当

【問3】 食品ロスの軽減率が高いのは、家庭と事業者のどちら？

事業者



よ 読めない文字は、かざくや、ともだちにきいてみてね